

公益社団法人調布青年会議所 2026 年度
ファーストペンギン総務委員会 運営方針

専務理事	川村 克行
副専務兼財務担当理事	山田 亮平
委員長	太田 勇輝
副委員長	鈴木 優児

■委員会テーマ

最初に踏み出す勇気

■委員長所信

ファーストペンギン総務委員会では、理事長方針にもありました通り「情熱をもって挑戦する私たち青年の姿が、次の世代に勇気を届ける」ことを重点に置き、メンバーが挑戦できる環境を整え背中を押す、そのような委員会を目指します。

本年度は総務として広報・事務の面で対外及び対内の「信頼」を構築します。

まず、対内的には活動への関わりが少なくなっているメンバーに、改めて調布青年会議所に関心を向ける機会を提供できる発信をします。入会するきっかけとなった会員、親しかった同期の会員など、共に歩んだ仲間との接点を増やすことで繋がりを強化できると考えております。

誰かが「あいつ、最近見ないな。声をかけてみるか」と気にかけて行動に移すことで活動的になる仲間もいるはず。発信を通して、その「誰か」が動く機会を作ります。

次に、対外的には調布青年会議所がどのような団体か知ってもらう発信をします。

HP や SNS は今や必須のツールです。これらを引き続き積極的に活用していきます。しかし、頼り過ぎることは「人と人の繋がり」を希薄にしてしまいます。

実際に会って説明することで伝わるものもあります。対外的に説明できるチラシを作成することで、会員が事業を通して知った誰かに説明できるようにし、その小さなきっかけをメンバー全員に共有いたします。

また、事務業務は組織運営の“下支え”です。会議運営や文書・契約・証憑の整備は、仲間の挑戦に必要な“見えないインフラ”です。その効率化を図ることで仲間が本当に注力すべきことに注力できる環境を目指します。

具体的には、法人口座のネットバンキング化を図り、各委員会の事業で必要なときに確認や振込手続きが効率的にできるようにいたします。その他、明文化されずに口伝で引き継がれてきたものを明文化し次代に引き継ぐことで円滑な組織運営に繋がります。

最後に、私たちは日々の仕事で培った知識と経験を土台に、職場では試せない挑戦を JC 運動の場で創り出すことができます。本年度、私たちは理事長所信のもと、一步を踏み出す者を応援し、次に続く者を支える運営を総務の責任とします。

挑戦はときに失敗や迷いを伴います。しかし、私たちはそれを学びに変え、次の一步を創造します。本年度、総務は学びを、やさしさを、挑戦を日常にして、調布の未来を拓く運動を後方から力強く支えてまいります。

■担当事業など（予定）

- 定時総会・臨時総会の開催【2・9第一・12 月第一例会/管理費】
- 褒賞委員会運営【管理費】
- 理事長選挙管理委員会の運営
- 会員名簿作成【管理費】
- 協力団体・ボランティアの表彰管理
- 広報誌「あすの調布」の発行【通年/公益事業】
- ホームページ管理・更新【通年/公益事業】
- 当会におけるSNS 利用の調査研究【通年/共益事業】
- 調布市議会議員選挙への関わり

- 例会写真・事業写真撮影・管理
- 各SNS 更新
- 友好LOM オロンガポJC との連携
- LOM 運営に関する事項
 - ・理事会、スタッフ会、正副会議の運営
 - ・財務管理
 - ・会員管理（名簿データ管理、メーリングリスト管理、日本本会の会員登録・変更・削除）
 - ・出向者管理（出向者名簿作成、出向者申請管理、出向委員会との連絡及び対応）
 - ・公益法人としての東京都への事業申請及び報告
 - ・事務局管理（物品管理、清掃管理、各種整理）
 - ・理事会議事録作成
 - ・発送作業の管理・実施
 - ・サーバー内フォルダ整理
 - ・理事長選挙に関する規程の改定
 - ・事業構築サポート
- 日本本会・ブロック協議会・他LOM・その他団体などに関する事項
 - ・対外的な連絡窓口
 - ・各種大会などへの登録
（京都会議、東京ブロック大会、サマコン、全国大会、関東地区大会、ASPAC、世界会議など）
 - ・他団体との連携に関する事項（後援・共催依頼受諾、予算執行、連絡調整など）
 - ・アワード申請補佐（日本本会、東京ブロック協議会）

■最後に

今年は、調布青年会議所の仲間を支えることを自然にできる委員会にしていきます。